

農林水産大臣賞及び長崎県知事賞

農林水産大臣賞 及び 長崎県知事賞

受賞部門：畜産部門（トップファーマー）

法人名（設立年）

株式会社 かぶしきがいしゃ びーていーえす そのだ **B T S. 園田**

（令和元年 11 月 1 日設立）

代表取締役 そのだ ゆうじ 園田 裕司

市町名 島原市

所属団体 島原市認定農業者協議会、
島原雲仙農協島原繁殖牛部会



1 経営の概要

	主品目（肉用牛繁殖）	その他	合計
作付面積(頭羽数)	肉用牛繁殖 342 頭 (うち経産牛 289 頭) (うち育成牛 53 頭)	—	肉用牛繁殖 342 頭 (うち経産牛 289 頭) (うち育成牛 53 頭)
単収	—	—	—
生産量（販売量）	子牛出荷頭数 219 頭	—	子牛出荷頭数 219 頭
労働時間 (うち雇用時間)	7,960 時間 (4,200 時間)	—	7,960 時間 (4,200 時間)
家族従事者数	2 人（役員 1）	経営の継続性	法人化済み（令和元年）
労働条件の整備	就業規則に関する規定あり		
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	エコフィードの利活用、堆肥の供給、抗生剤等使用低減取組 生産履歴記帳、生産履歴に基づく販売、資源循環（地域部門間連携：4 者間）		

2 特徴的な取組

- ICT 技術の積極的な導入により、生産性向上、事故率
低減、省力化、コスト低減を実現。特に繁殖ステージ
毎に牛群を管理することで分娩間隔を県平均(395 日)以
下の 365 日まで短縮している。
- 冷暖房完備のセミウインドレス哺育舎を整備し、高低
温ストレスによる子牛の発育不良を防止することで発
育が向上し、購買者から高い評価を得ている。



共進会で牛をひく園田氏

3 受賞理由の要約

- 平成 19 年から肉用牛繁殖経営を拡大し、現在 342 頭を飼養するなど、わずか 10 年で県内でも屈指の大規模肉用牛繁殖経営を実現している。
- ICT 技術の活用や冷暖房完備の哺育舎などの最新技術を導入するとともに、雇用の活用や法人化に取り組み、経営を安定・高度化している。

長 崎 県 知 事 賞

長崎県知事賞

受賞部門：露地野菜部門（トップファーマー）

氏名（年齢）

かこい はつき かこい みやこ
園 初喜（66歳） 園 みや子（62歳）

かこい ゆうき かこい しずか
園 勇樹（32歳） 園 静香（31歳）

市町名 諫早市飯盛町

所属団体 長崎県中央農協ばれいしょ部会、長崎県中央農協にんじん部会



1 経営の概要

	主品目（春作ばれいしょ、冬にんじん、秋作ばれいしょ）	その他（水稻、生姜）	合計
作付面積(頭羽数)	春作ばれいしょ 480a 冬にんじん 360a 秋作ばれいしょ 80a	水稻 50a 生姜 15a	985a
単収	春作ばれいしょ 3,870kg/10a 冬にんじん 5,910kg/10a 秋作ばれいしょ 2,580kg/10a	—	春作ばれいしょ 3,870kg/10a 冬にんじん 5,910kg/10a 秋作ばれいしょ 2,580kg/10a
生産量（販売量）	春作ばれいしょ 185.5t 冬にんじん 212.7t 秋作ばれいしょ 20.7t	—	春作ばれいしょ 185.5t 冬にんじん 212.7t 秋作ばれいしょ 20.7t
労働時間 （うち雇用時間）	6,913時間 （1,488時間）	575時間	7,488時間 （1,488時間）
家族従事者数	4人	経営の継続性	後継者が就農済み
労働条件の整備	家族経営協定（H19年）		
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	にんじんにおいて県基準量より20～40%の減肥、長崎県版簡易GAPの実践、資源循環（地域内資源活用）		

2 特徴的な取組

- （1） 基盤整備地を中心に農地を集積し、作付のべ面積は現在 985a となり、拡大率は 10 年前と比較して 2 倍以上と飛躍的に増加している。
- （2） 規模拡大に対応するため、地域で最も早く、にんじん収穫機を導入し、現在、部会員の 40%超が収穫機を導入するなど、産地拡大にも貢献している。



にんじんの間引き作業

3 受賞理由の要約

- 積極的な農地集積と省力化により、にんじん、ばれいしょを規模拡大し、大規模経営と高い労働生産性を実現している。
- JA ながさき県中央にんじん部会長として、選果施設を整備し、産地の出荷量が 7,000 t を達成するなど産地拡大に尽力している。

長崎県知事賞

受賞部門：施設野菜部門（トップファーマー）

氏名（年齢）

菅 秀夫（52歳） 菅 美樹（46歳）

菅 大地（25歳） 菅 舞（22歳）

市町名 島原市有明町

所属団体 島原雲仙農業協同組合
なんこういちご部会



1 経営の概要

	主品目（いちご）	その他（Kan Berry 他）	合計
作付面積(頭羽数)	52a	—	52a
単収	4,446 kg/10a	—	4,790 kg/10a（その他含む）
生産量（販売量）	23.1t	1.8t	24.9t
労働時間 （うち雇用時間）	8,320時間 (900時間)	480時間 (0時間)	8,800時間 (900時間)
家族従事者数	5.6人	経営の継続性	後継者が就農済み
労働条件の整備	家族経営協定（H29年）		
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	太陽熱消毒と生物農薬、生産履歴記帳		

2 特徴的な取組

- 高設栽培システムと自動換気を全棟に整備した施設で、「ゆめのか」と「恋みのり」の2品種を栽培し、高い大玉比率は県内トップクラス。また、フィルム張り機を活用したパック詰め作業の分業化を整備するなど、作業の省力化を実現している。
- 春先に収穫したいちごを原料に使ったかき氷などのコールドスイーツを地元の物産館で提供し、6次化にも取り組んでいる。



パック詰め作業

3 受賞理由の要約

- いちご専業の大規模経営体であり、炭酸ガスの施用などにより大玉比率は県下トップクラスとなるなど高い技術力と収益性を実現している。
- 全てのハウスで高設栽培、高設育苗を取り入れるとともに、自動換気、フィルム張り機を導入するなどして、作業の省力化と作業場の環境を改善している。

長崎県知事賞

受賞部門：果樹部門（トップファーマー）

氏名（年齢）

茅原 俊文（67歳）

市町名 佐世保市

所属団体 ながさき西海農協させぼ広域
かんきつ部会



1 経営の概要

	主品目（温州みかん）	その他（水稻）	合計
作付面積(頭羽数)	302a	18a	320a
単収	3,363 kg/10a	—	3,363 kg/10a
生産量（販売量）	101.6t	0.8t	102.4t
労働時間 （うち雇用時間）	6,503時間 (4,120時間)	17時間	6,520時間 (4,120時間)
家族従事者数	1人	経営の継続性	後継者が就農済み
労働条件の整備	無し		
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	有機質主体みかん専用肥料の使用、長崎県版簡易GAPの実践、資源循環（自己完結）		

2 特徴的な取組

- （1） 自宅周辺を中心に離農者の園地を借地などで集積し、園内道の導入や改植に伴う園地改造、スピードスプレーヤの導入など省力化栽培を実現している。
- （2） 植物調節剤やシートマルチの利用により気象条件が悪い年でも高いブランド率を維持し、また、収穫後の樹勢回復や土壌改良などの徹底した管理で単収が約3.4tと県平均（1.6t）の2倍以上を確保している。



SSによる葉面散布作業

3 受賞理由の要約

- 部会の園地登録園制度に取り組み、ブランド栽培指針に基づいた管理の徹底により、高品質果実を連年安定生産することで高い収益性を実現している。
- ながさき西海農協させぼ広域かんきつ部会のリーダーとして、選果場の光センサー増設や改植などを推進するとともに、農地集積協議会長として基盤整備の推進に尽力している。

長崎県知事賞

受賞部門：花き部門（トップファーマー）

氏名（年齢）

ながた たつのすけ
永田 龍之介（41歳）

ながた いくえ
永田 郁枝（39歳）

市町名 島原市

所属団体 島原花卉生産組合



1 経営の概要

	主品目（きく）	その他		合計
作付面積（頭羽数）	59a	—		59a
単収	117,891本/10a	—		117,891本/10a
生産量（販売量）	695,560本	—		695,560本
労働時間 （うち雇用時間）	12,400時間 (5,200時間)	—		12,400時間 (5,200時間)
家族従事者数	3.1人	経営の継続性	経営主が60歳以下	
労働条件の整備	家族経営協定（H19年）			
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	減化学肥料と有機質資材の使用、防虫ネットの使用、長崎県版簡易GAPの実践、資源循環（自己完結）			

2 特徴的な取組

- （1）重油暖房とヒートポンプを併用し、燃油使用量の削減に努めるとともに、ヒートポンプを夏場の夜間冷房に活用して奇形花などの高温障害を抑制し、高品質なきくの安定生産を実現している。
- （2）いち早く環境制御技術を導入して単収向上を図るとともに、先駆的に電照の光源をLEDに交換し、省エネルギー対策に取り組んでいる。



花芽確認中

3 受賞理由の要約

- ヒートポンプによる夜間冷房など先端技術を積極的に導入することにより、高品質キク生産に尽力。また、単収向上や安定生産を図り、低面積高収益生産を実現している。
- 普及指導協力委員として環境制御技術の普及に尽力するほか、農大生の研修受入など、花きの振興に大きく貢献している。

長崎県知事賞

受賞部門：特産部門（トップファーマー）

氏名（年齢）

なかやま ゆうた
中山 雄太 (37歳)

市町名 東彼杵町

所属団体 長崎県央農業協同組合茶業部
会東彼杵支部、株式会社長崎
ワンダーリーフ、長崎県茶業
青年会、九州茶業青年会他



1 経営の概要

	主品目（茶）	その他（水稲、花木）		合計
作付面積(頭羽数)	750a	60a		810a
単収	164 kg/10a	-		164 kg/10a
生産量（販売量）	12.3t	3.0t		15.3 t
労働時間 （うち雇用時間）	7,300時間 (160時間)	60時間 (0時間)		7,360時間 (160時間)
家族従事者数	4人	経営の継続性	経営主が60歳以下	
労働条件の整備	家族経営協定（H17年）			
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	減農薬・減化学肥料による栽培、長崎県版GAPの実践、資源循環（地域内資源の利用）			

2 特徴的な取組

- 主力品種である「やぶきた」偏重の栽培を改善するため、「さえみどり」等の優良品種を積極的に導入し、「やぶきた」の植栽割合を50%に低減して、摘採適期の分散化と品質向上を実現している。
- 令和元年度の全国茶品評会で農林水産大臣賞を受賞して市場での評価を高め、二・三番茶は高機能発酵茶を組織で生産して付加価値向上を図っている。



茶摘採作業

3 受賞理由の要約

- 就農時は500aだった経営面積を750aへ拡大し、面積拡大に対応して新型の乗用管理機械や製茶機械を導入して、栽培管理と製茶作業の効率化による安定生産を実現している。
- 長崎県茶業青年会長を務め、「長崎玉緑茶」や「そのぎ茶」のPRを積極的に行い、若手生産者を牽引している。

長崎県知事賞 受賞部門：林産部門（トップファーマー）

法人名（設立年）

うちやまりんぎょう とうどうがいしゃ
内山林業 合同会社

（平成 27 年 5 月 8 日設立）

代表者名 うちやま きよた
 内山 喜代太

市町名 対馬市厳原町

所属団体 -



1 経営の概要

	主品目（木材）	その他		合 計
作付面積（頭羽数）	搬出間伐 87.95ha 主伐 1.11ha 造林 1.07ha 森林作業道 9,987m	-		搬出間伐 87.95ha 主伐 1.11ha 造林 1.07ha 森林作業道 9,987m
単収	平均出材量 63.99 m ³ /ha	-		平均出材量 63.99 m ³ /ha
生産量（販売量）	木材生産 5,699 m ³	-		木材生産 5,699 m ³
労働時間 （うち雇用時間）	13,731 時間 (11,751 時間)	-		13,731 時間 (11,751 時間)
家族従事者数	2 人（役員 1）	経営の継続性	法人化済み（平成 27 年）	
労働条件の整備	規定無し：労働条件通知書のみ			
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	森林経営計画（H29）			

2 特徴的な取組

- (1) 立木の伐採や枝払い、玉切り、集材を 1 台で行う高性能林業機械ハーベスタを導入して、生産量が 5 年前の 2 倍に増加している。
- (2) 木材の材質を見極め、需要者のニーズに合わせた採材を行い、適材適所の販売を行うことで、森林資源を最大限有効活用している。



高性能林業機械ハーベスタ

3 受賞理由の要約

- 平成 24 年から管理が不十分な森林を整備するため、20 人の森林所有者から 302ha の森林経営を受託し、森林経営計画を策定したモデル的な取組を実践している。
- 代表社員の内山喜代太氏は、地域のリーダーとして林業振興に貢献するとともに、林業普及指導協力員として森林教育を行い後継者育成にも尽力している。

長崎県知事賞 受賞部門：しまの農林業経営部門（トップファーマー）

氏名（年齢）

かじた ゆきのり
梶田 幸孝（40歳）

市町名 壱岐市石田町

所属団体 西九州たばこ耕作組合石田郷ノ浦
総代区、J A壱岐市青年部、壱岐
地域施設花き環境制御勉強会



1 経営の概要

	主品目（葉たばこ）	その他（花き、水稲）		合計
作付面積(頭羽数)	260a	花き 10a 水稲 145.2a		415.2a
単収	336 kg/10a	—		336 kg/10a
生産量（販売量）	8.7t	花き 41,272本 水稲 6.5t		葉たばこ 8.7t 花き 41,272本 水稲 6.5t
労働時間 (うち雇用時間)	3,672時間 (416時間)	3,144時間 (0時間)		6,816時間 (416時間)
家族従事者数	4人	経営の継続性	経営主が60歳以下	
労働条件の整備	家族経営協定（H17年）			
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	水稲「つや姫」の特別栽培、たばこ耕作組合のGAPの実践、資源循環（自己完結）			

2 特徴的な取組

- 大規模圃場に農地を集積して、葉たばこの高架型作業車や一貫作業機で効率的な作業を行うなど省力化に取り組み、大規模経営を実現している。
- 弾丸暗渠による排水対策、土壌分析に基づいた施肥設計、罹病葉の早期除去や適期収穫の徹底などに取り組んだ結果、葉たばこ単収は、県下トップクラスとなる336kg（平均単収280kg）を実現している。



令和元年作標準モデル展示圃

3 受賞理由の要約

- 葉たばこ、水稲、花きの栽培を行う地域でトップクラスの大規模経営体であり、葉たばこ単収は県下トップクラスであるとともに、高い収益性を実現している。
- J A壱岐市青年部会長など若手リーダーとして地域の模範となっている。

長崎県知事賞

受賞部門：産地集団部門（いきいきファーム）

しまばらうんぜんのうぎょうきょうどうくみあい
島原雲仙農業協同組合

なんこういちごぶかい
なんこういちご部会

代表者名 部会長 よしだ しゅうじ 吉田 修二

市町名 雲仙市国見町・瑞穂町、
島原市有明町

発足・設立年 昭和 47 年



1 組織の概要

品目	いちご	構成員数 (認定農業者数)	256 人 (158 人)	産地規模	77.3ha
販売量		2,824.0t	販売額	3,726,000 千円	
単収		3,653kg/10a	単価	1,319 円/kg	

2 活動の特徴

- (1) 1戸あたり経営規模は県内最大、販売額全国4位を誇る全国トップクラスの部会である。
- (2) 省力多収品種「恋みのり」の試験栽培にいち早く取り組み、収穫・出荷調整の大幅な省力化や単収向上を実現している。



現地検討会の様子

- (3) 環境制御機器の導入による収量向

上、農福連携・外国人実習生・JA農援隊などによる労力補完、「恋みのり」の高い大玉生産性を生かしたフルーツキャップ付き1玉売り、個別面談方式により経営上の課題・対策を検討して実践につなげる経営改善活動など、個別経営の発展や地域農業の振興に大きく貢献。

3 受賞理由の要約

- 省力多収品種「恋みのり」の全国一の産地の地位を確立し、収穫・出荷調整の大幅な省力化や単収向上を実現している。
- 様々な先駆的取組を積極的に展開し、本県のいちご産地の牽引と地域農業の振興に大きく貢献している。

長崎県知事賞 受賞部門：農山村地域保全部門（げんきビレッジ）

うんぜんひゃくねん もり かい 雲仙百年の森づくりの会

代表者名 会長 宮本 秀利 みやもと ひでとし

市町名 島原市

発足・設立年 平成9年



1 組織の概要

構成員数	会員 24 名	組織の性格	ボランティア緑化団体（任意組織）
活動内容	雲仙普賢岳噴火により焼失した地域の森の再生・保全・啓発活動		
活動実績	植樹本数：32,000 本、植樹面積：4.0ha、イベント参加人数：延べ1万人超		

2 活動の特徴

- (1) 雲仙普賢岳の火砕流により失われた森林の復活を目指し、一貫した森づくり活動を20年以上、延べ1万人を超えるボランティア活動によって継続している。
- (2) 「故郷の森の再生には故郷の木の種子で緑を蘇らせる」をコンセプトに「本物の森づくり」の活動を行っており、地元高校生の卒業記念植樹「卒業の森」活動など将来を担う世代への森林環境教育に貢献している。



卒業の森記念盤除幕式

3 受賞理由の要約

- 長年にわたり、雲仙普賢岳の火砕流により失われた森林の復活を目指し、一貫した森づくり活動をボランティアによって実施しており、その活動は市民の心の励みとなっている。
- 地域イベントとして定着した活動を通じ、農山村と都市部の交流や、植樹・育樹技術の伝承と普及につながっており、今後、地域にとどまらず全国各地での森林再生や緑化活動への波及も期待される。



植樹活動風景